

2022(2021)年 稲敷市地域おこし協力隊 最終活動報告

おこし

4期生 瀬谷 勇

～お詫び～

大変遅くなりました

2年分の活動報告になりますが、あらためて発表させていただきたいと思います。

言い訳になってしまいますが、身内の不幸と予期せぬ問題が重なってしまって、本当に大変な3～4年目でした。

協力隊として目標にしていたことは…

つぎ

半分

達成できたと思っています。

ただ、地域おこし協力隊として目標していた

「拠点を用いた(民泊)地域活性」

は残念ですが、未達となりました。

拠点(民泊)を用いるまで大きな問題があり、今までの活動が無駄になるぐらいの問題が発生したので、クリアするのに本当に時間がかかってしまいました。

あくまで拠点という箱物ができただけなので、

ここからが大変な道のりですが、引き続き頑張っていきたいところです。



協力隊として

良いこと・悪いこと・気づいたこと・感じたこと・やるべきこと
苦労したことなど…

とにかくいっぱいありました。

全てを総括して、報告させていただきたいと思います。



協力隊としての3年間(+1年)の歩み



自分のミッションが「成功・失敗」に関わらず

「定住」を前提に地域おこし協力隊になろうと思って、当市を選んでいます。

それを踏まえての自身で決めた進捗です。



1年目の動き

1. 「地元となる場所」を良く知る。
2. 市民に私たちを知ってもらおう。関わる。
3. 「定住」を前提にした動き
4. 「定住・起業」をしたい理想の場所を探す。



を目標にしてました。

1・2の動き。色々な事がありました。



江戸崎 カブトムシ相撲大会



桜川保育園 いなのすけとクリスマス！



イバライド ふるさとマルシェ



古渡 山崎菓子舗さん よくお話しに行きました。



イバライド
JA稲敷江戸崎かぼちゃプロモーションビデオ撮影会



須賀津 地域の祭り



江戸崎 地域対抗綱引き大会



浮島 婦人会芋ほり体験イベント



地域イベントや地元の方との交流へ県・市内を駆け回りました。

市内を回ってる最中に「定住」のきっかけとなる
出会いがあります。

ずっと誰かを待っていたかのようにひっそりと。





当時8年以上空き家だった当該物件

「ここだ！」

と思いましたが。場所もこだわっていたけど、まさか存在するとは。目的の場所がなければ、定住しない事を着任前から決めていました。

所有者探しから実際に手を付けられるまでの交渉もあっという間に進み、手をつけることが可能となりました。でも・・・手を付けられる前に自然の猛威。





台風による建物被害



台風による浸水被害



台風による雨樋落失



台風による屋内被害

とにかく、やれることはやろうと思い、
地域活動ややるべき仕事をやりながら、定住に向けての第一歩を進み
ました。

でもここからが「試練」でもあったりします。
まずは片付けや周辺整備。



2年目へ

2～3年目

あっという間に過ぎた1年目。いよいよ「定住・起業」に向けての大仕事の始まり。
2年目以降、改修スタートしました。

目標として…

- 道具を揃える！
- DIY経験が無いので、慣れる・勉強する！
- 住める状態にする！
- 地域になじむ。参加する。
- 自然界にある「稲敷で見過ごされていたものの活用」
- 近隣自治体との可能性(協力隊同志の連携)

ことに集中して、進めました。

改修作業はスキル無・道具無で作業が大変でした！



1年目後半から空き家だった拠点を使えるようにと、事を進めてきました。



いざ挑戦！DIYリフォームの様子







スタッフルーム施工前



キッチン床シート施工中



フリースペース断熱施工中



敷地内防風林剪定中

経験もなく、師匠的な方をお迎えして、やる訳でも無く・・・
とにかく失敗を多くして、自身で学びながら作業を進めていきました。
でも「難しい」「わからない」など理解するのに苦労しました。
なぜ？スキルもないのにやろうと思ったの？
と思いますが、個人的には「挑戦」「楽しさ」だったと思います。
DIYとか才能や普段からやってるとかも関係すると思うけど、
始めはユーチューバーの動画を見て「やれそう！」と思いました。実
際やってみて、そうではないと思いました。



大工・DIYは大変だなと思いながら、事を進めていきました。
素人DIYでもなんとか住める状態になりました。

「やればできる。。。」

時には大きなケガもして、作業が出来なかった日もありました。
見せ方やDIYが下手ですが、施工前施工後のビフォーアフターで違い
を比べてみてください。



民泊運営建物改修DIY



ビフォーアフター (雨樋・納屋・外周)



before



屋根が住宅・納屋とも破損してます。

before



納屋も屋根が破損しています。

before



納屋も屋根が破損しています。

before



地中の焼却灰などを除去しています。

before



地中の焼却灰などを除去しています。



ビフォーアフター(廊下、縁側)

before



before





before



玄関に非常誘導灯の設置をしています

before



指示により、非常誘導灯設置をしています

ビフォーアフター (8畳間×2のフリースペース)



before



畳もかなり古いです

before



漆喰塗前の状態



before

漆喰塗WSで漆喰を塗りまくってます

before



断熱材を敷いてます

before



畳の表替え後、防虫シートを敷いてます

ビフォーアフター(キッチン)

before



before



before



補強をしています

before



キッチンを設置する場所が整いました

before



フローリングマットを敷き詰めました。

before



歪みはとりあえずナシ

ビフォーアフター(スタッフルーム)

before



水漏れ乾燥後の状態でとにかくカビ臭かったです

before



畳を剥がし、床下から直してます

before



床下を組んで、合板貼りました

before



合板の上から断熱材を敷きました

before



畳→フローリング材に変更して貼りました

before



砂壁を漆喰塗りをしています

ビフォー (洗面所、お風呂)

before



before



ビフォー(宿泊スペース①)



ビフォー(宿泊スペース②)

before



すべてを剥がし、床下から修理する工事が発生しました

before



防虫・防湿シートを引いてます

before



調湿材を敷いたあと、断熱・合板を敷いてます

before



既存の2段ベッドを
コンセント・鉄骨をいれて組み立てています。

アフター(比べてみてください)



after



無事に設置完了！

after



土壌を整備し、芝生の上で安全にくつろげる
スペースを作りました。

after



設置しました

after



材料不足で設置に4か月もかかりました

after



繋がって、便利になりました

after



ゆったりとした空間に仕上げました。

after



フローリングへ変更しました。

after



新規でシステムキッチンを導入しました

after



床を塗装しなおしました。

after



空調設置、砂壁や天井も綺麗になりました

after



すべてを入れ替えています。

after



すべてを入れ替えています。

after



新規で畳を入れ替えしました

after



宿泊者用の2段ベッドを設置しました

after



和風モダン部屋に仕上がりました

どんなことをやった？（雨樋・納屋・外周）

- 足場を組むと高くつくので、手持ちの梯子では作業ができなかったため、トラックを横付けして高さを設け、そこに梯子をかけて取付直ししました。屋根上に上がっての作業も行いました。
- 台風で吹き飛んだ瓦やトタンを張り直ししました（業者）
- 剪定されていなかった防風林などを整備しました。
- 台風で破壊された納屋の修復・防犯カメラを設置しました。
- 一部場所に土壌改良を行ったのち、芝を貼り、バーベキュースペースとして解放しました。
- 一部シロアリ被害もあったので、シロアリ駆除も行いました。
- 大量の粗大ごみを搬出処理しました
- 浄化槽ブロアーがすぐに故障したため、中古の浄化槽ブロアーを頂き、加工して設置しました。

※屋根や納屋の修理はオーナー様に修理していただきました。ありがとうございます。



どんなことをやった？ (廊下・縁側)

- ここもヤニ汚れがひどかったので、木の漂白剤を使用してヤニ汚れを除去してます。
- 床も研磨したのち、塗装をしました。
- 引き戸もガラス割れやヒビがあったので、交換しました。
- 昔ながらの作りで、廊下～縁側が繋がっていないので、骨組みを作って廊下～縁側を繋げました。
- 縁側の天井部の汚れが目立ち、和紙を貼って隠そうとしましたが、和紙が汚れを吸収し汚れが目立つ感じになってしまいましたが、そのまま使用しています。
- ブラインドシェードやカーテンなどを付けました。
- 消防署の指導により、非常誘導灯2基の設置を指導され、付けました。(3年目)
- 網戸枠がありました、合わない寸法ばかりで結局新規で設置しました(3年目)

※非常誘導灯設置が不要の案件だと最初報告を受けていたが、移動距離など構造上判断が覆り、設置義務が発生。思わぬ出費でした💧

どんなことをやった？ (フリースペース①②)

- 画像にはありませんが、床下潜り、調湿材をいれました
- 畳を撤去し、一部の部屋は表替えをして、新調しました。
- 砂壁をすべて「漆喰塗(白)」へ塗りなおしました。
- 漆喰塗ワークショップを開催して、数十人で楽しみながら漆喰を塗りました。
- 漆喰塗後、凸凹が多かったなので、全体的に削って調整しました。
- 木の部分のヤニ汚れがひどかったので、木の漂白剤にて全体の汚れを除去しました。
- フローリングに変更した部屋では断熱材を敷いたうえでフローリング材を敷きました。
- 引き戸のガラス部分の破損などを交換しました。
- 障子をすべて張り替えと高さ調整をしました。
- 神棚と仏壇を適切なやり方で撤去しました(お祓い済)
- 漏電の恐れもあり、コンセントもすべて交換しました(業者)
- 民泊用の煙探知機を設置しました。



どんなことをやった？ (キッチン)

- 汚れが特に酷かったため、既存のキッチンを処分し、新しいシステムキッチンを導入しました。(業者)
- フローリングが破損、歪みがあったため、合板で補強後にフローリングマットを敷き詰めました。
- 天井の汚れも酷かったため、天井用の壁紙に張り替えました。(業者)
- 壁も当初は壁紙で対応しようと思いましたが、羽目板で対応したいと思ったので、一から羽目板にて対応しました。
- 民泊用のガス+煙探知機や一酸化炭素探知機を付けました。



どんなことをやった？ (スタッフルーム)

- 畳を撤去後の床下も骨組みが傷んでおり、全撤去した上で、一から組みなおし→合板引く→断熱材入れる作業をしました
- 砂壁をすべて漆喰塗にしましたが、凸凹が多かったので全体的に削ったりして整えました
- コンセント類は漏電の恐れから、すべて新規交換しました(業者)
- カメラ式インターフォンを付けました
- 民泊用煙探知機を設置しました
- 天井を撤去し、新規で天井を貼り直ししました(業者)

被害が一番出ていた部屋ですが、綺麗に生まれ変わりました。



どんなことをやった？（宿泊スペース①②）

- 砂壁をすべて漆喰塗にしました
- 空調を設置しました。
- 民泊用の煙探知機を設置しました
- 床下を剥がし、調湿材を敷き詰めて湿気対策をしました。
- 畳の土台に断熱材を敷きました。
- 宿泊スペース①②に2段ベッドを改造し設置しました。
- 和室から和室モダン風に変更するため、畳を撤去。骨組みを一から行い、断熱材を敷いてフローリング材に変更しました。（宿泊スペース①）
- 空調や民泊用の煙探知機を設置しました



※綺麗にできた部屋ですが、諸事情で色々と気をつかう部屋でした。

どんなことをやった？（洗面所・お風呂）

- 古い洗面化粧台を入れ替えました
- 天井および周囲も新しい壁紙に張り替えました。
- 床も新しいものに入れ替えました。
- 分電盤も安全面から入れ替えました。
- 既存のバスを取り外し、新規で水回りの工事をお願いし、新規バスを導入しました。

※洗面所・お風呂はすべて業者様対応となっています。



後半はほぼ一人でやっていたのと、作業中止するほどのケガをしたり、世界情勢の影響で必要な部品の調達が大幅に遅延したりして建物の完成予定が半年以上も遅れましたが、何とか形にはなりました。

この時点で「民泊できないの？」と聞かれる事が多かったのですが、正直「出来ていた」と思います。

ですが、お金を取っての宿泊には「問題あり」の状態でした。なので、許可がとれるまで後に触れますが、ワークショップやコンサートイベントぐらいしか出来ない状況。

ですが、民泊として許可を取るのに「書類上の問題」と「追加設備工事発生」が更に遅延が発生しました。


情報確認と経験不足もありますが、事前調査や進め方に問題があったのは言うまでもありません。それでも何とか・・・4年目最後に民泊(簡易宿泊)の営業許可を取れました。

最終的に1年協力隊を延長していなければ、民泊の営業許可は取れなかったと思います。




何とか・・・営業許可は取れました(4年目)

竜ヶ崎-000106




旅館業許可証

住所 

氏名 瀬谷 勇

(法人にあっては、その名称、
主たる事務所の所在地)


営業施設の所在地 茨城県稲敷市 

営業施設の名称 ゲストハウス のんびり

竜保指令第88号

令和5年(2023年)02月22日 付で申請のあった旅館業法(昭和23年法律第138号)
第3条第1項の規定による許可の申請については、下記の条件を付けて許可する。

令和5年(2023年)03月07日

茨城県 竜ヶ崎 保健所長 石田 久美子 

記

- 1 営業の種類
簡易宿所
- 2 その他

お
りし

お店の名前は「ゲストハウスのんびり」



ゲストハウスのんびり(稲敷市上須田10-3)が約2年以上かけて完成?しました。

でもあくまで箱物が出来ただけで、大変なのがこれから。

民泊があくまで拠点として考えており、今後運営としていく上で、平行して「拠点を生かした地域活性」をどうしていくかを色々試しにやってみたり受け入れてみたりしました。



2021夏 サイクリング&カヤックイベント(当時)





実際に川下りもして実体験しました。

2021冬 クリスマスコンサート



湖(霞ヶ浦)や川を使った体験アクティビティの発掘と開発



カヤック体験(当時)



SUP体験



霞ヶ浦での漁体験



霞ヶ浦での漁体験

その中で「自然」を利用した体験・体験アクティビティが盛んであり、今後もその可能性があると思いました。

実際に「サイクリング」「フィッシング」「ゴルフ」など陸上の自然を利用したアクティビティが盛んな地域ですが、水上の自然を利用したアクティビティがまだ弱く、可能性がにあることに気づきました。

私自身も当市に協力隊として、やってみたいことが「民泊設営」ともう一つが「自然を利用した地域活性(特に水関係)」だったので、色々と考えた結論が

水上体験アクティビティ
SUP(スタンドアップパドルボード) でした。



SUP体験および実地研修(3~4年目)



民泊設営で時間を多くとられてしまい、ここまでの準備ができませんでした。協
力隊任期終了後、プレオープンを経て民泊と同時に当市に来て水上体験アクティ
ビティができる準備をしていきます。

SUPのスキルに関しては任期終了1か月前に「インストラクターライセンス」を取得
しております。

こちらは任期終了後からプレオープンを経て
一年後の2024年春オープンで考えています。

他にこのような事も取り組んでいました。



水以外の自然に関係する取り組み

- 竹を使った竹細工の可能性(竹あかり)
- ほぼ絶滅した市内のホタル復活の取り組み
- 荒れた河川の自然復活への勉強会
- 愛鳥家の動向や飛来した鳥の観測
- 当市でしか見られない「景色」の撮影スポット探索

を重点に活動をしていました。



自然を「楽しく活かす」ための動き





文化祭での竹あかりワークショップ



竹あかりがきっかけで行われたお祭り



ホタルを復活させるための取り組み



ホタル放流など課外授業



自然を利用した河川のあり方の勉強会



飛来した鳥たちの観測



あずま 清久島の夏



桜川 夕陽が蓮根畑を照らす

色々やってみたりして、絶滅したものを復活させる動きを地域の子供たちと一緒にやってみたり、自然と人のあり方の勉強などもさせていただきました。

その中で「竹」を活かした動きが「市民との繋がり」「地域活性」を生んだかなと思っており、長年開催が無かった地域のお祭りなどが開催され、市民と市民との繋がりが再認識されるきっかけ作りができました。これも当市を知ってもらおうきっかけになればと思っています。

竹あかりに関しては当施設での体験アクティビティの1つとして作れるようになっていきます。





当市や周辺自治体に住む外国人を対象に日本語をボランティアで教える団体がありまして、こちらも協力隊に2年目から携わっています。

協力隊任期中に団体の代表の一人として現在も指導をしています。



ちょこっとだけ。稲敷で感じたこと

色々ありますが、特に感じたことが

稲敷は「娯楽が少ない」(特に子供向け)と感じました。

この部分って、大人たちが何とかしないといけないよねって思いました。何か施設を作らなくても出来るんです！

大人も遊び方を知る教えることも大事。って思います。(テレビ・スマホゲーム以外の遊びです)



感じたことも少し触れ、あとは活動の内容を色々報告しましたが、正直全てを報告できませんが、本当に色々な事をやっていました。

おまえ、何やってたんだ？と言われるぐらい色々とやりましたが、どれも

「稲敷でやれる、体験できること」

を形にするために動いていたと思います。楽しさを体験してもらうために。現在もその基盤をしっかりとするために動いています。

まあ自分もみんなも一緒に楽しんでいこうぜ！ってことで...



4年間ありがとうございました！
引き続き、残って頑張っていきたいと思います。



稲敷 和田公園にて